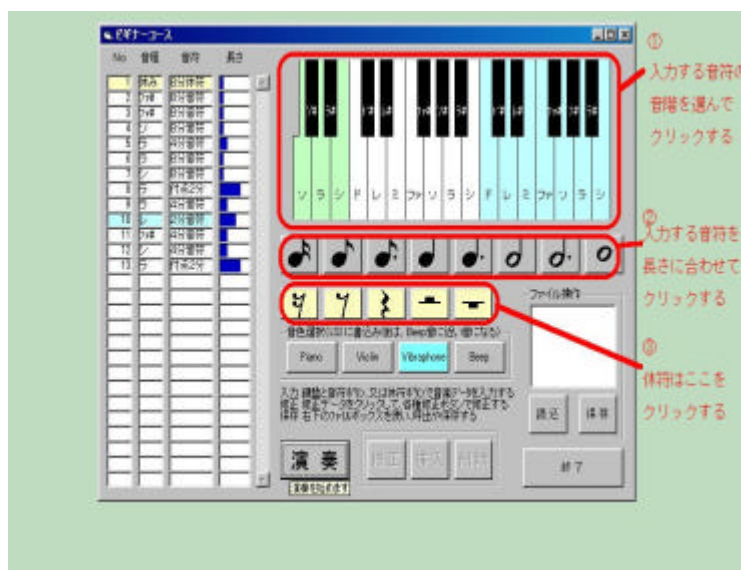


3. イン트라ネットを利用したオンラインヘルプ

ネットワーク環境を構築することにより、視聴覚情報はネットワークで結ばれたパソコンに共有され、生徒の必要に応じて自由に検索、利用できる。多くの生徒が一斉に情報を検索したり、複数の学校間で教材を共有することができ、多様な学習素材が容易に得られるようになった。

本校にもローカルエリアネットワーク（LAN）が組まれている。インターネットへの接続とともに、サーバー機に設定されている共有フォルダに教師が自作したHTMLファイルを保存し、生徒用クライアント機からブラウザソフトを用いて閲覧する「校内イントラネットオンラインヘルプ」を利用できるよう準備した。「めざましメロディの入力」(pho.1)「ロボコンネットワーク」「ホームページづくり」等の自作教材へのリンクを用意した。製作中の生徒の感想からも意欲的な姿勢と満足感が伺え「ものづくり」に情報を活用することが体験できたと考える。LANの利用はスタンドアロンの状態に比べ情報量やデータの共有において教材作成の面や、多くの生徒が一斉に利用できる点からもその有効性は格段の差が感じられた。また、情報の蓄積と交流は生徒の「ものづくり」に役立つだけでなく、有害情報や外部とのトラブルの危険性がない安全なネットワーク上で経験を積み、メールの交換などでネチケットを学ぶ場を設けることができるといったメリットがあることが確認できた。



pho.1 めざましメロディの入力のヘルプ